

オペラシアターこんにゃく座公演

こんにゃく座の おんがくかい

オペラの国からやってきた
不思議な人たちが歌いだす

ひとつひとつの歌から
ひとつひとつの物語が始まる

構成：萩京子 構成・演出：大石哲史
振付：白神ももこ 衣裳：武田園子 音楽監督：萩京子

こんにゃく座は新しい日本オペラを創造し全国で上演しています。
日本語をいかに自然に歌うかを追求し活動してきたこんにゃく座が、
今うたいたい歌、届けたい歌をあつめたコンサートです。

第20回アジテジ世界大会 / 2020 国際子ども舞台芸術・未来フェスティバル招待作品として 2021 年初演



曲目

白いクレヨン 詩：山元清多 曲：萩京子
わたしのすきなこなひきさん イギリス伝承童謡集「マザーグース」より 訳詩：谷川俊太郎 曲：林光
やぎさんゆうびん 詩：まど・みちお 曲：團伊玖磨 編曲：萩京子
月夜のでんしんばしら 詩・曲：宮澤賢治 編曲：林光
うたものがたり「ふきのとう」 詩：工藤直子 曲：萩京子
はなのの…「ことばあそびうた」より 詩：谷川俊太郎 曲：萩京子
蚤の歌 原詩：ゲーテ 訳詩：堀内敬三 曲：ムソルグスキー

ほか
※曲目は変わる可能性があります。

作曲者のことば

こんにゃく座が開催する音楽会はすべて「こんにゃく座の音楽会」ですけれども、この『こんにゃくざのおんがくかい』はひと味違っています。どこかの国から5人の旅人がやってきて、ひとりピアノを弾き、4人は歌を歌ったり、太鼓を叩いたり、踊ったりして去って行きます。旅人たちはどうもオペラの国からやってきたようですが、今日は「オペラ」ではなく「うた」を聞いてもらいたい、そういう日なのです。ひとつひとつの歌にもものがたりがあります。ひとつひとつの歌が、聞く人をものがたりの国に連れて行きます。「こんにゃくざのおんがくかい」に立ち会うと、いろいろな国に旅をしたような気持ちになります。音楽との出会い、ことばとの出会い、目の前で歌をうたう不思議な人たちとの出会い…。そんなたくさんの出会いによって「こんにゃくざのおんがくかい」は、聞く人が昨日までの自分とは違う自分に出会うきっかけをつくれます。こどもたちと、かつてこどもだった人たちのための「おんがくかい」です。

萩京子 (オペラシアターこんにゃく座代表・音楽監督)

出演



花島 春枝



北野 雄一郎



入江 菜奈



中村 響



吉村 安見子
(ピアニスト)

初演アンケートより

- ・歌の4人の皆さんの確かな表現力と歌唱力、それを支えるピアノは優しく力強く。今日あらためて「音楽は希望だ」と思いました。
- ・歌と動きがとても良くて「心のごちそう」を頂いて満腹になりました。良かったです！
- ・4人の声とピアノ、手持ちのピアノや打楽器。小さいステージですが、特別な世界がありました。